



大野和興 (農業ジャーナリスト)

■本稿は7月2日のくげノム問題研究会>シンポジウムでの発題を基に構成

食が「国家」に取り込まれる

食料安保の罠 (3)

世界的視座で農と食の問題を追いつける、わが国農業ジャーナリスト第一人者の大野和興さん。同氏の農業と食料問題に関する最新提言が前号に掲げた5つのテーマを基にした論考だ。同氏の食に関する問題の在り所を共有すべく、連載でお伝えする。「コモンズ編集部」

いま村では何が起きているかー現場からの報告

花退治の時代がすぐそこに 小説『花』と映画『花物語』

いま村では何が起きているかー現場からの報告。花退治の時代がすぐそこに。小説『花』と映画『花物語』。いま村では何が起きているかー現場からの報告。花退治の時代がすぐそこに。小説『花』と映画『花物語』。

◆なにもかも軍事化

なにもかも軍事化。台湾有事で中国が攻めてくると自公政権が煽り立て、日本の食糧自給率が極端に低いことばかりを叫び、このままでは日本人が飢える、この国の最高権威東京大学教授がのたまう、右も左も食糧安保(食料安保)と通称していま。

◆花と戦争

花と戦争。映画『花物語』の舞台は、アジア太平洋戦争の末期。戦地では弾丸が落ちて死傷者を出し、餓死する隊員が多くなっている。近頃戦争は国家が戦争を自然の多様性やその文化、備蓄食糧を植えること、備蓄食糧を植えること、備蓄食糧を植えること、備蓄食糧を植えること。

◆戦時へ逆戻り

戦時へ逆戻り。この映画作家田宮虎彦の小説『花』が原作。戦時へ逆戻り。この映画作家田宮虎彦の小説『花』が原作。戦時へ逆戻り。この映画作家田宮虎彦の小説『花』が原作。



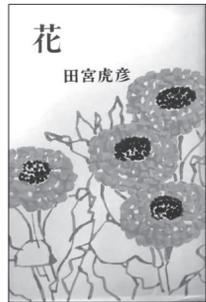
映画「花物語」

1989年製作／96分／配給：大映

●太平洋戦争末期、花作りの盛んな千葉県南房総を舞台に花を守り愛した実在の女性の姿を描く。田宮虎彦原作の小説「花」を映画化。女性主人公ハマを高橋恵子が演じた。

【ストーリー】 食料難の太平洋戦争末期。あちこちで花畑も野菜や穀物に転作されていた。そんなご時世にもかかわらず、花の栽培に夢を託すハマに村人たちは「非国民」と陰口を叩いていたが、ハマは小さな善兵衛畑の花だけは残そうとしていた。そんな時、「食糧管理法」が施行され、すべての田畑に食物を植えることが義務づけられた。花を栽培することは、明らかに法を犯すことになる。勇一は、作次が止めるのも聞かず、善兵衛畑の花を引き抜くのだ。

落ち込むハマだったが、雑木林の片隅の吹きさらしの谷に小さな荒地を見つけた彼女は、そっと水仙を植えつけた。戦争はどんどんひどくなり…だが、ハマは谷の花をひたむきに守り続けるのだ。しかし、この花も何者かに引き抜かれてしまい、戦争は花を咲かせる自由すら奪った。そんな時、ハマに夫の戦死が告げられた。そして終戦の日が来た。…ハマは、息子勇一が戦争から戻って来る日を願いながら、花の栽培に励むのだった。



田宮虎彦著「花」

足になんない作物米、麦、サツマイモへの転換が強制された。黒潮が連綿と温暖な気候を利用して東部向けの花産地として成り立っていた南房総の村では、農林省指導員と農作物の輸入ルートを国家命が下す。

11・23(沖縄)県民平和大会 宣言

全国と全世界と団結して戦争を止める 私たちはその決意を内外に発信します。

政府は「数年中国脅威」を強調し、昨年2022年の暮れには「安保関連3文書」を閣議決定しました。その上で「台湾有事」南西諸島有事に備えるためとして、最大の軍事強化を図ることを宣言しています。与那国、石垣、宮古の島々に限らず沖縄島や奄美、馬毛島に至るまで自衛隊基地が相次いで建設されミサイルや弾薬が持ち込まれています。さらに島々の空港、港湾をはじめとする公共インフラの軍事利用が謳(うた)われ、その上で空港滑走路の延長や港湾の拡張新設のために予算化が図られています。

また驚くことに、日本から直接中国本土を攻撃する長射程のミサイル開発に乗り出すことが明言され、米国から2000億円の巨費を投じて購入するトマホークミサイルの配備計画について1年前倒しで2025年から配備する動きになっていると報じられています。米軍の無人偵察機MQ9が自衛隊鹿屋基地から嘉手納基地に、地域住民の反対を押し切って配備されたように、また沖縄が配備先になることは必至です。

一方で自衛隊や米軍は、昨年2022年11月に実施された日米共同軍事演習キーンロード23や今年10月に実施されたレインユードトラゴ23のように最大規模の軍事演習を相次いで強行し、そのたびに島々に大量の軍事兵器が持ち込まれるようになり、自衛隊や米軍の車両が白昼市街地を走り回り制服姿の自衛隊員が隊列をなして行軍するようになり、戦前を彷彿(ほうふ)とさせる光景が広がっています。かつてない軍事的緊張が島々を覆っています。

そのような情勢下で政府は、戦争の足音に恐怖する県民感情に配慮するどころか、辺野古新基地建設の代執行問題に見られるように「安保外交基地問題」は「国の専権事項」と強硬姿勢を強めるばかりです。「台湾有事は南西諸島有事」、「台湾有事は日本の有事」と言い切った安倍政治を踏襲し「南西諸島」の島々の軍事基地強化に邁進しています。このままでは本島に戦争が起きかねません。何としても政府の暴走を止めなくてはなりません。沖縄戦の悲劇を繰り返さないために、私たちは今こそ、戦争をするな!無謀な戦争を繰り返すな!と腹の底から声を上げようではありませんか。

台湾問題は中国の国内問題であり決して軍事介入して事の決着を図る問題ではありません。台湾問題に限らず諸外国との外交問題は、決して武力に訴えることなく、外交を柱に對話を通じた相互理解と相互尊重の立場で問題解決を図るべきではありません。そのことが先の戦争から学んだ教訓であるはずですが、私たちは政府に対し、平和外交に徹し問題解決を図るべきであることを強く訴えます。

私たちは本日の平和大会で戦争に反対する県民意思、全国各地から参集した多くの市民の燃え立つ思いを発信しました。本日の集会は、今後さらに拡大していく県民大運動、全国運動の序章でありスタートラインに立つたばかりと言えます。戦争の道を暴走する政府の動きを止めるために、思想信条を越え老若男女が手を取り合って団結すること。次は5万10万人の単位で県民総決起の大会を開催して政府にそして全国に県民の決意を伝え、全国と全世界と団結して戦争を止める、私たちはその決意を内外に発信します。以上、ここに宣言します。

11 23 県民平和大会

「反撃力が日本全国を戦場化する。沖縄・南西諸島・全国を戦場にしてはならない」

第14期沖縄意見広告運動—6・11報告集会「特別講演」より 第3回

沖縄も日本も戦場にさせるな！

11/23

南西諸島代表の胸迫る「平和・反戦トーク」



乱鬼龍リポート：11・23日、沖縄の「争うよりも愛したい」11・23県民平和大会の熱声に呼応して東京でも「国会正門前アクション」が取り組まれた。

国会正門前アクション

乱鬼龍リポート：11・23日、沖縄の「争うよりも愛したい」11・23県民平和大会の熱声に呼応して東京でも「国会正門前アクション」が取り組まれた。

「平和・反戦トーク」
この日は、報告集会（文京区民センター）も持たれ、会場いっぱい詰め込み、結集約500名でこれまた熱い連帯の集会となった。

「平和・反戦トーク」
この日は、報告集会（文京区民センター）も持たれ、会場いっぱい詰め込み、結集約500名でこれまた熱い連帯の集会となった。

12・4 嘉手納町 沖縄防衛局前



オスプレイ飛行停止を求める緊急抗議集会

「辺野古新基地を造らせない」という沖縄会議は12月4日、嘉手納町の沖縄防衛局前でオスプレイ飛行停止を求める緊急抗議集会を開き、今回の米軍オスプレイの墜落事故後、米側に飛行停止を求めない政府の対応に「誰を守っているのか」と抗議し、沖縄防衛局の伊藤蔵哉局長に要請書を手渡した。

戦争準備に入った日本—最後の仕上げ「安保3文書」と43兆円予算 有事に米軍は撤退し、日本を守らない



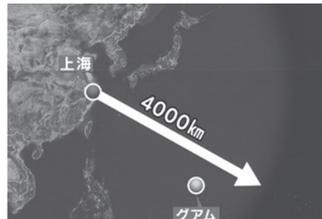
伊波洋一（参議院議員/沖縄意見広告運動全国世話人）

15. 「台湾有事」で：在日米軍は撤退

いろいろな意味で、侵襲部隊が弾道ミサイルでの攻撃、航空機での侵襲、海空からの攻撃、逆上陸、南西諸島はもう既に日本政府としては上陸があるという事を前提として考えています。

16. 「43兆円支出」で最終実戦配備

これは国会でもほとんど議論されていなかったのですが、「何も役割が委ねられた



グアム基地も有事に数千発のミサイルで消滅する

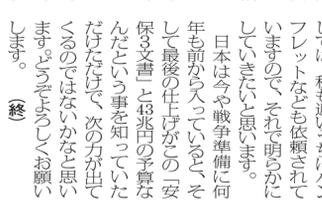
「持続性」強靱性」と、43兆円のうち15兆円を支出し、弾薬、艦艇の確保、技術の維持確保、300の自衛隊施設の強化に充て、戦闘の持続性を確保する。

17. 日本全国で野戦への準備体制

つまり野戦用の戦争準備の支出は、全部は戦争のための支出なんです。

18. ミサイル届く4000km 圏内から逃げる米軍

例えば横須賀にある空母とかが、最大の攻撃力があるんですけど、ここに線がありまして、これは「DF-21D」という対艦ミサイルが、ここまでは届かないと沈めるんです。



野戦に備える自衛隊 自公政権はこの全国化を目論む

「野戦に備える自衛隊 自公政権はこの全国化を目論む」
この14項目というもののうち、細かく見ると全部の項目があります。

行なわれるという事なんです。今回の安保3文書というのは、もう沖縄や南西諸島の話ではないんです。

アメリカは日本には来られないんです。アメリカは加勢しないんです。

サイルが出来上がっているんです。だから来られないんです。

「野戦に備える自衛隊 自公政権はこの全国化を目論む」
この14項目というもののうち、細かく見ると全部の項目があります。



＜私に連なる女たちの秩父事件＞



西沢江美子 (農業ジャーナリスト)

かつて、この山中谷(埼玉県秩父市)から群馬県奥多野にかけての地域(の11月は翌年のくらの糧を干面する厳しい時期。ほとんどが山林、斜面にへばりついた段々畑に芋や雑穀を植え、和紙と養蚕、コニヤクで生きていた。自給に足りない分を含め、必要な現金を養蚕、コニヤクで得なければならぬ。)



原発を止めた裁判長

そして原発を止める農家たち

大阪府内の自主映画会で素晴らしい映画を撮りました。『よって、原発の運転は許されぬ』と題して、稲垣をメインから映画が始まる。隣では設備を貸して設置した太陽光パネルの下で農作物を育てるソーラーシェアリング(富農型太陽発電)の工事が始まっています。場面が変わって、福井地方



私が原発を止めた理由
原発敷地に限っては強い地震は来ない。しかし、周辺地域に地震が来ると、原発の放射性物質が流出する恐れがある。...

参考書・私が原発を止めた理由 樋口英明/著
出版社：旬報社2021年 税込価格1430円 頁数167頁
公式ウェブサイト https://saihancho-novels.com/index.html



闘って正社員になった

有田昌弘、大西克彦 耕文社2023年140頁



闘って
闘って正社員になった
闘って正社員になった
闘って正社員になった

激流の世界をひも解く＜真の理論・情報紙＞として
読者の皆様へー2023年秋冬のお願
この中で、本誌が何故も指摘し続けた矢のオーストリア事故と... 起るべくして起った事故が、あるため沖繩の人が運動... 続けていることの真実が、今、緊急に問われているのは、この情勢根本から多岐にわたる社会構想... である。...

編集室から

11月2日(木)週刊金曜日創刊30周年の集い。沖縄意見広告のチラシ全員に配布。15日(水)反原発金曜日(首相官邸前)。19日(月)総がかり行動。23日(木)沖縄日本も戦場にさせるな、国会正門前アクション。26日(日)府中平和まつりなど。...

コモンズ川柳
乱鬼龍
ジェノサイド やめる英智が せせならない
命どろ宝 スイミハイと なるん
原発に まだしがみつく 罪深さ
学術会議 次は大学 魔手が伸び
文明の 弔鐘と聞く 除夜の鐘

- 群馬
●三光堂書店
伊勢崎市大車町2の15
0270252347
●中原ブックランド
川崎市中原区小杉町3の1
0447112346
●東京
●書房ランデ
千代田区神田神保町1の3
0332950011
●模索舎
新宿区新宿2の4の9
0333552357
●愛知
●豊川カルミア店
豊橋市花田町西宿無番地
豊橋ステーションビルカルミア
0532622810